



滝五だより

令和3年 1月8日
学校だより 1月号
北区立滝野川第五小学校
校長 山口宗彦

令和3年を迎えて

校長 山口 宗彦

新年明けましておめでとうございます。今年も皆様お揃いでよい年をお迎えのことと思います。

13日間の冬休みを終え、2学期が再開されました。今年は新型コロナウイルスの感染予防のため、健康管理にいつも以上に留意しながらの冬休みだったことと思いますが、ご家庭でのお子さんの様子はいかがだったでしょうか。冬休み前の全校朝会では毎年、「挨拶をしっかりやろう」「お手伝いをたくさんしよう」「交通安全に気をつけよう」の3つについて話をします。それぞれどうだったか、ご家庭でもぜひお子さんとふり返ってみてください。

☆ ☆ ☆ ☆

さて、12月に北区教育委員会より、全児童対象に図書カードが配布されました。この冬休みを有意義に過ごすことができるよう、家庭学習で用いる教材や書籍を購入するための北区の家庭学習支援事業の一つです。書籍をさっそく購入し、冬休み中、お子さんと本に親しまれたご家庭もあったことでしょう。

国立青少年教育振興機構の「中学校時代までの読書活動と、(大人になってからの)現在の意識・能力の調査」によると、幼児期から中学生までの読書活動が多い人ほど、前向きで、充実した日々を過ごしているという傾向が見られるそうです。

「自分のことが好き!」「粘り強く最後までやりぬく!」といった意識が、読書活動が少ない人に比べて20ポイント以上も高いそうです。最近は紙媒体の本を読まず、スマートフォンやタブレットを使った読書も増えていますが、同機構の別の調査によると、読書の使用ツールに関係なく、読書をしている人はあまり読書をしない人に比べ、理解力、思考力、行動力などの能力が全般的に高く、中でも紙媒体で読書している人に、さらに高い傾向が見られるそうです。

使用ツールにかかわらず、読書を通して様々な生き方や考え方を学び、自分の世界を広げていく。読書を通して自信や意欲など、生きる力や活力を自然に培っていく。様々な機会を通じて、どの子供にも本の楽しさをたくさん味わって欲しいです。

☆ ☆ ☆ ☆

今年の干支は「丑(うし)」。「丑」は中国で生まれた漢字で紐に通じ、本来は「からむ」という意味があり、芽が種子の中で伸びることができない状態を表しています。厳しい寒さの中で、草木の根が紐のように結び合い、春を待ちつつ耐え忍んでいる様子から、丑年は「我慢(耐える)」や「発展の前触れ(芽が出る)」を表す年になると言われています。

新型コロナウイルスの感染拡大で、まだまだ我慢し続けなければならぬ時が続くかもしれませんが、地道に進んでいくことで新たな発展へと繋げる年にしていきたいものです。

教職員一同、今年も力を合わせてまいります。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

1月行事予定

8	金	4時間	安全指導
12	火	席書会①	給食始
13	水	席書会②	
14	木	避難訓練	計測(1年)
15	金	計測(2年)	委員会活動
18	月	朝遊び週間(29日まで)	お話会(1年、2年、5組)
			計測(3年)
19	火	計測(4年)	
20	水	計測(5年、5組)	
21	木	特別時程	計測(6年)
22	金	歯科検診	(全学年)
23	土	土曜授業	
			なわとび大会(2、3校時)
25	月	社会科見学	(6年)
27	水	4時間	(校内研究授業のため2年2組は5時間)
28	木	特別時程	
29	金	クラブ活動	(3年見学)

*23日(土)の土曜授業「なわとび大会(2、3校時)」については、新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、非公開とさせていただきます。ご理解とご協力をお願い致します。

